



令和4年
12月23日(金)

意志あるところに道は拓かれる

本日、二学期の終業式を行いました。式では、四月からの自分自身を振り返り、来るべき二〇二三(令和五年)へ向け、一人一人が心の中で、今後に実現したいことや、なりたい自分の姿をイメージしてほしいという旨の話をしました。思い起せば、よく頑張った自分をほめてやりたいシーンもあれば、頑張り切れずに悔が残っている場面、また、頑張ったのに結果が出せずに悲しかったこともあったことと思います。

『意志あるところに道はある』ということわざがありますが、反対に言えば、『意志なきところに道はなし』ということ。道なきところに道を拓く力こそ夢であり志です。来学期、来年度に大きな期待を託します。

今後、「未来をたくましく引き拓く生徒の育成」を最上位目標として、教育活動を推進してまいります。そのうえで、めざす生徒の姿を

- 誠実勤勉 自主創造
- 高い志へ向かって自律・自制する
- 自らの問を持つて納得解を求める
- 多様性を尊重して他者と協働する

という形で整理し、三学期には、令和五年度にむけての助走を始めたいと考えています。

式後に、表彰伝達を行いました。最初に、第三十六回毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト努力賞(入賞二十八校・努力賞二十八校/全国)に輝いた三年生に表彰状を渡しました。これは「体力づくり」を通して「たくましく生きる力」の育成に取り組み、成果をあげている学校を表彰するコンテストです。体育の授業をはじめ、部活動や日々の自転車通学などでの地道さが、体力の向上につながったのではないかと感じています。一、二年生も後に続いてくれることを期待します。続いて、以下の表彰伝達を行いました。

人権標語コンクール

- 優秀賞 日下部 百依・鈴木 理央(三年)、竹内 臣・竹内 彩乃(二年)、中尾 海斗・石垣 慶次(二年)
- 佳作 深草 沙羽・井上 真里(三年)、有竹 陽真里・萩村 紗蘭(二年)、伊藤 夢彩・日下部 和加(一年)

防災・防火標語コンクール

- 入選 大槻 美結・井上 真里(三年)、辻 匠真 梅本 大雅(二年)、石垣 慶次・三輪 光沙(二年)
- 佳作 川島 凜(三年)、萩村 もか(二年)、須藤 碧海(一年)

三泗地区学校保健表彰(努力生徒)

早川 翼月(三年)

県中学校RWCテニス大会Wブロック

第一位 テニス部女子

県社会科教育研究会作品展

入選 森新 佳作 森瑞稀(一年)

中学生の税についての作文

佳作 細川 ひより(三年)

読書感想文県コンクール地区審査

佳作 萩村 紗蘭(二年)、石川 由椰(一年)



「学校日誌」から 不便や不都合を考える

一年生国語では、「不便の価値を見直す」という説明文に取り組んでいます。徒歩はタクシーより不便ですが、その分、景色がよく見える…。作者はいろんな事例を挙げて「不便益」を説きます。見方を変えると人生が豊かになると言えそうです。

二年生理科では、ジュールの法則(発熱量は電流・電圧・時間に比例)を学んでいます。この法則はモーターに不都合な発熱を減らす研究から生まれたそうです。まさに右の説明文のごとし。ドライヤー・電気炊飯器など、恩恵は計り知れません。

三年生数学(少人数)では、定理を活用して証明問題を解いていました。正解例の解説を受けて、もう一行説明を付け足さなくもよいか、という趣旨の発言がありました。これもまさに不便益。もやもや感が鋭い質問となつて学習が深まりました。(十二月八日)

自らに引き寄せて学ぶ

一年生体育は、ハンドボールに取り組んでいます。男女混成チームによるゲームでは、パスの通りやすい位置を互いに指示しあいながら、役割分担をして楽しめていました。これを機に多様なスポーツに慣れ親しむ機運を高めてほしいと思います。

二年生音楽では、歌舞伎を音楽の側面から取り上げ、動画の視聴を通じて、特色や魅力について学びました。テレビでおなじみの歌舞伎役者のインタビュー場面などもあり、日本の伝統文化の世界を身近に感じながら学べました。また、わかには、編み物、縫物などの学習にそれぞれが集中して取り組みました。

三年生社会では、日本銀行の金融政策の目的や効果について、新聞記事を活用して学習しました。新聞という「小窓」を通じて、経済の動向が見えることを実感し、新聞を手取る機会が多くなるよう期待します。(十二月二十日)

